

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	うるぎ国際センター 英語デイキャンプ自然体験
事業主体 (連絡先)	売木村
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	782,821 円 (うち支援金: 626,000 円)

事業内容

海外の人が来村し、日本の田舎文化を通じて交流をする目的として設立した国際センターであったが、新型コロナウイルス感染症の影響により海外から訪れる人がいなくなった。

そこで、国際センターにおいて日本の子どもたちが英語でのデイキャンプを行いながら、自然体験活動を行いながら外国語を学び、つながり人口の増加、郷土愛を育み、子どもたちの英語力の向上を目的とする。



【子ども達との英語デイキャンプ】

【目標・ねらい】

- ①英語、外国文化、売木村での自然を学べる場の提供を行う。
- ②参加者同士で調理や外国語のボードゲーム、工作等を行い、楽しみながら日常会話を学ぶ。
- ③海外文化との比較を通して当地域の資源・文化を見つめ直すきっかけとし、郷土愛の醸成に繋げる。

事業効果

①②愛知県からの参加者と飯田市からの参加者があり、国際センター周辺の自然体験、散策を行い、また、調理や外国語のカード、ボードゲーム等々を行い、簡単な日常会話など英語に触れる機会ができた。散策やゲームなど子どもが興味を持つことができることから外国語に触れる機会を増やすことから始める。

③月1回程度村内の子どもとの交流を行うことができた。参加した子どもは2~3人ではあったが、交流(遊び)をきっかけとして英語での日常会話へ興味を持ってもらいたい。

デイキャンプとは趣旨が違っていました、英語学習塾を開催している縁で阿南高校生との交流が実現した。国際センターにおいて日本と海外の文化の違いや国際センターの役割などを話す機会ができた。

※自己評価【 B 】

【理由】

参加者数は目標を下回ってしまっただが、参加した人は自然体験など楽しみながら英語に触れる機会が得られた。また、村内の子ども達と定期的な交流ができた。

今後の取り組み

小学生、中学生、高校生を対象にデイキャンプを楽しみながら英語(英会話)に親しむことを、また、地元の子も売木村の自然体験を通して楽しみながら英語力の向上を目指した。しかし、「英会話」という言葉が子どもに勉強を連想させてしまうようで、敷居を高くしている要因となってしまった。今後の募集には「英会話」を前面に出すのではなく、自然体験を通して英語に触れるデイキャンプとして継続を検討する。

日帰りでのデイキャンプから始めたこの事業ではあるが、もともと宿泊滞在型の施設であるため、宿泊型のプログラム、大人も楽しめるプログラムも追加していきたい。

今回は国内の子ども向けであるが、将来的には海外からの子どもが日本の文化に触れる体験交流を行うことも考えたい。また、縁があって阿南高校生を対象とした英語塾を開催していることから、阿南高校生との交流も続けて行いたい。